



2006・9・25

事務局 岡谷市長地片間町 2-5-5
TEL, FAX 0266-28-928

ニュース No.13

信濃の国に美しい秋が深まってきました。その一方で、教育基本法改定、新憲法制定を公約に掲げるすごい内閣が発足しました。覚悟を決めてかからなくてはと思います。

活動・行事の報告

8月6日(日) 原爆記念日行事 平和祈念岡谷市民太鼓と平和の集い

あの日のように、晴れ渡った青空のもとで、小井川小学校玄関前の小公園には、各太鼓連80人、父母、一般の参加者約100人などが、続々と集まった。平和の火点火、笠原忠夫委員長の格調高い挨拶、太鼓揃い打ち、ダイイン、と進み、小井川小学校長の言葉でおわった。気持ちのよい朝でした。

8月15日「憲法9条は非戦の誓い」新聞広告

長野日報、市民新聞への全面意見広告は、諏訪地区全体で800人の目標が、965名となり、岡谷地区も、岡谷区、山の手を含め、また多くの未加入の方々もご賛同をいただき、217名の方に参加していただきました。なかには、名前を出すのは困るがカンパしますと言われる方もありました。ありがとうございました。特に、知り合いの一般の方たちに呼びかけて、参加者を何人も集めていただいたか方たちがいます。運動はこのようにして広まっていくのだと思います。本当にありがとうございました。

市町村別
参加者

岡谷市	217
下諏訪	156
諏訪市	143
茅野市	291
原村	56
富士見	85
その他	17
合計	965

9月2日(土) 定例会(活動日)

手違いで、映画はできませんでしたが、集まった者たちでささやかにトークのつどいを持ちました。

9月30日(土) DVD上映会 憲法集会を成功させる会主催 諏訪市公民館3階講堂 参加費 1人1映画300円

12:00~ 「命に国境はない」 高遠菜穂子イラク報告 報道の見えない壁のおこうで何が起きているのか? ごく普通の生活の中で日々起こる悲劇。

15:00~ 「沖縄戦の証言」【MABUI】
マブイとは沖縄の言葉で、ゆるぎない真心をいみする。厳しい戦後の現実をありのままに受け止めて、明るくひたむきに生きる少年達の姿。

18:00~ 「あんによん・サヨナラ」 別紙

どれでも自由に参加できます

◎ 9月16日(土)「県民過半数署名の会」の呼びかけで、全県交流集会がありました。各地のいろいろな取り組みが報告され、厳しい状況のなかで、この秋は、かつてないほどに諸活動を強めようと決議されました。

◎ 「諏訪9条の輪」では、来年秋、前進座、三浦綾子原作の「銃口」を公演したいという計画があります。1人4000円 1000人規模を予定。

今後の予定

10月7日(土) 定例会
(活動日) 諏訪湖ハイツ201室
2:00~4:00 DVD「九条の会
有明講演会」上映 トークワーク

11月4日(土) 定例会
(活動日) 諏訪湖ハイツ203室
2:00~4:30 DVD上映
「あんにょんサヨナラ」
参加料 一人300円

12月2日(土) 定例会
(活動日) DVD鑑賞と話し合い

1月6日(土) 定例会
(活動日) DVD鑑賞と話し合い

新年度会費納入お願い

すでに100人位の方が納入してくださいました。なかにはカンパをそえて下さった方もいます。ありがとうございます。また、なかには500円入れてくださる方もあります。新年度より会費は1000円です。よろしく願いいたします。

憲法の全面改正を、自
民党総裁選に立候補する
安倍官房長官が主張して
いると聞いた。自民党の
総裁は国民が直接選ぶこ
とはできないのに、ま
るで国民に公約したかのよ
うにして、強行するのだ
ろうな。

各種の世論調査でも、
憲法改正に賛成の国民が
50%を超え始めた。民主
主義の国だから仕方な

鎌田 實

(諏訪中央病院名誉院長一茅野市在住)



鎌田 實

現憲法のすばらしさを考えて

少数派になったが、ほ
くは日本国憲法はすばら
しい憲法だと思ってい
る。確かに少し古ぼけて

はいるが、かつて戦争が
好きだった国が、60年間
戦争をしなかったのは、
この憲法のおかげだと思
っている。二度と戦争は
したくない。憲法が改正
されるにしても、絶対に
戦争が起らないように
したい。

「この国が好き」(マ
と戦争への歯止めを掛け
ておきたい。

憲法を一度変える。軍
隊を認める。いつか憲法
が再び変えられて徴兵制
が敷かれる。ぼくたちの
子や孫たちが兵隊に借り
出されていく。戦争をし
ないつもりだったのに、
戦場に若者を送り出す。
日本の若者たちが殺され

るのも忍びないが、日本
の若者たちが外国の人々
を殺して帰ってくること
も耐えられない。

立ち止まってもう一度
ゆっくり日本国憲法のす
ばらしさを考えてもらい
たいと思い、「この国が
好き」を書いた。憲法改
正に賛成の人も反対の人
も、もう一度ムードに流
されすよく考えてもらい
たいと思う。